

財団法人京都市景観・まちづくりセンター

平成24年度事業計画及び収支予算

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

[公1]

住民主体のまちづくりの実現と、歴史都市・京都の美しい景観、良好な環境を具現化し、京都の都市としての品格を高めるとともに都市活力の向上に寄与することを目的とする。

【平成24年度収支予算】

収入の部

	平成24年度予算	平成23年度予算
基本財産運用収入	1,138,000円	(1,138,000円)
特定資産運用収入	3,000円	(3,000円)
会費収入	4,000,000円	(4,600,000円)
事業収入	50,490,000円	(46,598,000円)
補助金収入	59,010,000円	(55,442,000円)
雑収入	101,000円	(101,000円)
特定資産収入	2,400,000円	(7,800,000円)
収入総額	117,142,000円	(115,682,000円)

支出の部

	平成24年度予算	平成23年度予算
事業費支出	99,250,000円	(96,374,000円)
管理費支出	15,960,000円	(16,776,000円)
繰出金支出	500,000円	(1,000,000円)
特定資産支出	75,000円	(130,000円)
予備費	1,357,000円	(1,402,000円)
支出総額	117,142,000円	(115,682,000円)

※ [法人運営] を含む。

【平成24年度事業計画】

予算額 115,210千円 (前年度予算額 112,680千円)

1 各種情報の収集、発信及び啓発

(1) 広報活動事業

ア ラジオの活用による情報発信活動

予算額 300千円 (前年度予算額 300千円)

F Mラジオの番組等を活用した、センターの各種取組等の広報活動

*番組名：『まちづくりチョビット推進室』

毎月第二、第四土曜日 15:30～16:00

京都でまちづくり活動を行う人や、その活動内容を紹介

イ ニュースレター「京まち工房」の発行

予算額 1,800千円 (前年度予算額 2,300千円)

景観・まちづくりに関する各種情報及び地域、関係団体等の活動状況等を掲載した広報誌を作成し配布

(2) シンポジウム等の主催事業

ア 景観・まちづくりシンポジウムの開催

予算額 500千円 (前年度予算額 500千円)

※ 全額京都市補助金

地域まちづくり活動や京町家の保全・再生の活性化を目指し、種々の課題とその解決方策を見出すための産・官・学・民の協働によるシンポジウムを開催

*開催予定 1回

イ セミナーの実施 <景観・まちづくり大学>

予算額 4,210千円 (前年度予算額 4,210千円)

※ 全額京都市委託料

(ア) 京のまちづくり史セミナー

京都のまちづくりの歴史を学び、これからのまちづくりを考える。

(イ) まちづくり情報発信セミナー

まちづくりに関する種々の情報を発信し、広くまちづくりへの参画意識の向上を図る。

(ウ) 京町家再生セミナー

京町家の所有者、居住者の維持、管理等に関する課題解決を図る。

(エ) こどもまちづくりセミナー

こどもたちが、自らの地域を知り、魅力と誇りを感じ取り、各世代との交流を通して景観・まちづくりへの意識の醸成を図る。

(オ) 地域まちづくりセミナー

住民主体のまちづくり活動の誘導、促進を図る。

- (カ) 学生まちづくりセミナー
将来の景観・まちづくりを担う人材育成と、次代を担う若者の視点、感性をまちづくりに活かす。
- (キ) まちづくり専門家セミナー
まちづくりに関わる様々な専門家との共同による調査・研究及びスキルアップを図る。
- (ク) 展示案内ボランティア交流会
京のまちかど展示コーナーの案内を担当しているボランティアのスキルアップを図る。

2 市民等の活動に対する総合的支援

(1) 地域活動支援事業

ア 地域ホームページの作成支援

予算額 500 千円 (前年度予算額 500 千円)

地域のインターネットを活用した広報活動に支援

イ まちづくり活動への助成

予算額 850 千円 (前年度予算額 400 千円)

※ 全額京都市補助金

地区計画や建築協定などの法制度等を活用し、景観・まちづくりに継続的に取り組む地域を支援

ウ マンション住民との交流の促進

予算額 100 千円

マンション管理組合や地域住民が取り組む良好なコミュニティづくりのための課題解決に向けた支援

(2) 各種相談対応事業

ア 京町家なんでも相談の対応

予算額 1,810 千円 (前年度予算額 1,980 千円)

※ 全額京都市補助金

京都の景観の基層を成す京町家の保存、再生、活用を図るため、各種の専門家、団体等の協力の下、「京町家なんでも相談」を実施。

(ア) 一般相談

- ・ センター職員による一次対応
相談内容に応じて、専門相談や団体紹介を行う。

(イ) 専門相談

- ・ 協力団体から推薦いただいた専門相談員による詳細対応
センター職員が相談内容に応じて、複数の専門家をコーディネート

(ウ) 京町家出前セミナー、出前相談会の実施

- ・ 地域で抱える京町家の課題の解決等を目的に、町内会や学区単位で、セミナーや相談会を実施

イ 近代和風建築物、近代洋風建築物等歴史資産に対する相談対象の拡充検討（新規事業）

予算額 200 千円

相談対象の建築物を、近代建築などの歴史資産に拡充することを検討する。併せて、実施のために必要な、連携先や制度等について検討を行う。

ウ 景観・まちづくりに関する相談の対応

予算額 650 千円 （前年度予算額 300 千円）

※ 全額京都市補助金

地域が自主的に取り組む景観・まちづくり活動に関する相談に対応

*相談内容、あるいはまちセンのコーディネート等の結果に基づいて、(3) アのまちづくり専門家派遣、(1) イのまちづくり活動助成に展開させる。

- ・ まちづくり専門相談を導入
- ・ 景観・まちづくりに関する団体等との連携及び支援

(3) 専門家等派遣事業

ア まちづくり専門家の派遣

予算額 1,200 千円 （前年度予算額 2,650 千円）

※ 全額京都市補助金

地域が主催する景観・まちづくりに関する会議等に、専門家をアドバイザーとして派遣

※ まちづくり支援制度の構築（新規事業）

予算額 100 千円

地域活動支援の見直しを行い、新たな制度の再構築を図る検討を行う。

3 各種の調査、研究

地域コミュニティの活性化等に関する調査等事業

世代交代、新旧住民の人口分布等を踏まえた、京都の伝統的コミュニティの継承の在り方等に関する調査、研究等を行う。

4 各種団体等との交流及び協働活動

(1) 専門家等交流事業

ア まちづくり専門家交流会の主宰

各分野の専門家との共同による交流会を開催し、相互のスキルアップとまちづくりに関わる職能人の育成を図る。

イ 歴史的建造物の保全、再生、活用に関する交流会の開催

予算額 750 千円 (前年度予算額 750 千円)

※ 全額京都市補助金

(ア) 京町家の保全・再生のあり方検討会の運営

京町家等の暮らしの価値の情報発信の促進を目的としたネットワークづくりのための交流会等を開催

* 年間 3回実施

* 構成団体

京都府建築工業協同組合、京都府建築士会、京都府宅地建物取引業協会、関西木造住文化研究会、京町家再生研究会、古材文化の会、町家倶楽部ネットワーク 等

(イ) 各種団体との連携

【センターが入会等をしている団体】

(社)日本建築学会、(社)日本都市計画学会、(社)都市住宅学会、日本マンション学会
関西木造住文化研究会、NPO法人古材文化の会、町家倶楽部ネットワーク

ウ 関係機関、団体等との協働事業の展開

予算額 200 千円

大学との連携による高瀬川周辺のまちづくりコンペ (新規)

* 立命館大学との共催で、高瀬川周辺の地域活性化をテーマとする学生コンペを実施

(2) 地域等連携事業

ア 地域情報発信交流会の運営

予算額 100 千円 (前年度予算額 100 千円)

地域の広報を担当している住民等が、相互に情報交換し、連携することによって、より効果的な広報活動を行うとともに、地域の活性化と地域間のネットワークづくりに向けた交流会を開催

イ 京町家の所有者・居住者の集いの運営

予算額 250 千円 (前年度予算額 150 千円)

※ 全額京都市補助金

京町家等の歴史的建造物の所有者、居住者等が相互に情報交換し、連携することによって、その維持、管理等に対する共通の課題の解決等を見出すことなどを目的にした交流会を開催

(3) 海外連携プロジェクト事業

ア アムステルダムを拠点とする日本文化センターとの連携

予算額 1,850 千円 (前年度予算額 2,000 千円)

京町家を滞在先としてオランダからのアーティストを受け入れ、京町家の活用の促進及び所有者や地域との交流を支援するアーティストインレジデンスを実施

イ 世界歴史都市会議への参画

予算額 80 千円

※ 全額京都市補助金

世界歴史都市会議（隔年）に参加し、京都の伝統や文化遺産の保存における現状や課題等を世界に向けて発信

ウ 他の海外の諸支援団体との連携体制の開発

5 歴史的建造物の保全、再生、活用に関する各種の支援及び普及、啓発

(1) 歴史的建造物の再生、活用助成関連事業

ア 京町家まちづくりファンドに係る普及、啓発

予算額 2,555 千円 （前年度予算額 3,000 千円）

※ 全額京都市補助金

- ・ ファンド運営に関する委員会の開催、公募及び選定に係る事務
- ・ 京町家まちづくりファンド事業の新たな展開についての検討
- ・ ファンドの啓発、普及のための各種キャンペーンの実施
- ・ 助成物件の見学会の開催
- ・ 京町家ツアー事業の展開（京町家まちづくり散歩、京町家まちづくりサロン、The Deepest Kyoto Tour 等）
- ・ 寄付拡大活動
- ・ 寄付金付き商品の開発・拡大
- ・ 冊子、京町家キットの販売促進
- ・ 京あるき in 東京 2013 への参画

イ WMF 等との連携による支援に係る普及、啓発

予算額 1,400 千円 （前年度予算額 1,100 千円）

WMF との連携の継続による、京町家の再生、活用に向けた国際的事業の展開

- ・ 京町家（奥村邸）に関連する事業（修復に係る調査や記録作成等）
・・・当センター負担分
- ・ シンポジウムや展示会等の開催・・・当センター負担分

(2) 歴史的建造物の保全、流通システム開発、運営事業

ア 京町家カルテの作成

予算額 3,000 千円 （前年度予算額 1,800 千円）

- ・ 京町家等の歴史的建造物の適切な保全・継承と市場における健全な流通の促進を図ることを目的に、京町家カルテを作成
- ・ 京町家カルテをより充実させるための検討会を開催

イ 文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業

予算額 5,675 千円 (前年度予算額 3,552 千円)

※ 京都市補助金 250 千円、文化庁補助金 5,425 千円

地域等との連携により、市内の京町家等を訪問して建物の保全、再生に役立つ情報を紹介し、必要に応じて相談等を実施する。また、所有者の希望により文化所見書を作成し、建物の保全、再生や、京都市の景観重要建造物等の各種認定の取得につなげる。

ウ 各種の権利保全制度の活用の研究

予算額 150 千円

管理信託手法、パブリックトラスト等を用いた歴史的建造物の保全・再生・活用の公的手法の検討

(3) 各種啓発冊子、技術資料等の監修、発行事業

ア 京町家の普及、啓発冊子の発行

予算額 500 千円

京町家の保全、再生、活用の気運につなげるための小冊子の印刷、発行

イ 冊子等の販売

景観・まちづくり関連の冊子の販売

【現在販売している冊子等】

- ① なるほど!「京町家の改修」～住みつづけるために～
- ② 京町家の再生 (光村推古書院)
- ③ 京のまちづくり史 (株式会社昭和堂)
- ④ まちづくりコーディネーター (株式会社学芸出版社)
- ⑤ 京町家等の組み立て式キット (株式会社さんけい)

6 公共人材育成に関する教育及び研修

(1) 公共人材開発連携事業

公共的感性を持った人材を育成するため、当センターを実務経験の場として提供し、連携大学等から学生等の短期受入れを実施

(2) 人材育成に関する研修等の主催事業

ア 大学・学生ネットワークの推進

予算額 100 千円 (前年度予算額 250 千円)

平成21年度に実施した「京都学生まちづくりコンペ」での学生の提案を、地域等と連携して具体的に実現していく活動の支援

イ まちづくりコーディネーター研修

予算額 200 千円

まちづくりコーディネーターの能力向上のための研修を充実

7 景観整備機構に関わる関連業務

各種調査、研究並びに提言等に関する事業

ア 景観重要建造物指定候補の提案事務

予算額 120 千円 (前年度予算額 120 千円)

※ 全額京都市補助金

景観法に基づく景観整備機構として、景観重要建造物候補の調査及び指定提案に関する事務

8 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

京都市景観・まちづくりセンターの運営事業

予算額 18,840 千円 (前年度予算額 19,298 千円)

※ 全額京都市委託料

ア 施設管理運営

(ア) 施設の管理面積

- ・ 延べ面積 ・ ・ ・ ・ 1,463.76 m²
 - * 地上1階部分 243.24 m²
 - * 地下1階部分 1,220.52 m²

(イ) 管理部分の用途等

- ・ 地上1階部分
 - * 京のまちかど展示コーナー
京都のまちづくりに関する情報提供を行う展示施設の運営
- ・ 地下1階部分
 - * 事務室
 - * 倉庫
 - * 交流サロン
広く一般に開放され、打ち合わせ等ができるサロンの運営
 - * 工房コーナー
コピー機、印刷機、紙折機、製本機等の設置及び運営
 - * 図書コーナー (運営に関しては再委託)
図書約1万5千点の閲覧及び貸出の実施
 - * 相談室
京町家専門相談等、プライバシーに配慮が必要な業務に利用
 - * ワークショップルーム
景観・まちづくり大学をはじめとする、センターの主催事業、共催事業等に活用

イ 施設管理に伴う情報発信

- ・ 京町家情報コーナーの運営
- ・ ホームページ等の電子媒体を活用したセンターの活動及び情報等の発信
 - * ホームページの運営
 - * メールマガジンの配信：月 2 回程度
- ・ 景観・まちづくりの情報をより分かりやすく発信するため、ホームページを充実

9 その他

講師等の派遣事業

行政、他都市のまちづくりセンター、大学等からの要望に応じて、広く景観形成やまちづくりに関する普及、啓発を図る手段として、研修会等へ講師を派遣する。

[法人運営]

法人の運営に関する事務を行う。

財団管理

(1) 管理事務

予算額 3,430 千円 (前年度予算額 2,666 千円)

※ 全額京都市補助金

理事会・評議員会の運営、財産の管理、経理事務等

(2) 賛助会員管理事務

予算額 150 千円 (前年度予算額 150 千円)

※ 全額京都市補助金

- ・ 賛助会員に係る各種業務

【参考】(年間会費) 個人 1口 5,000円

団体 1口 50,000円

(会員特典)

- ※ 京都の各種情報の提供
 - ※ セミナーやシンポジウム等への優待
 - ※ オリジナル発行物の提供
 - ※ まちセンホームページでの協賛企業のPR
(協賛企業のホームページへのリンク)
 - ※ 協賛企業における研修会や福利厚生事業への協力
(研修会等への講師派遣)
- ・ 公益財団法人への移行に伴う賛助会員のさらなる増強への取組

(3) 団体ネットワーク事務

予算額 250 千円 (前年度予算額 250 千円)

※ 全額京都市補助金

- ・ 全国組織の学会、公益法人関係団体、その他センターの業務と関連が深い団体との交流事務

【センターが入会等をしている団体】

京都商工会議所

京都五山送り火協賛会

(社)京都市観光協会

全国公益法人協会

京のアジェンダ21フォーラム

[公2]

良質な地域コミュニティの形成と歴史都市・京都の景観の基盤を構成してきた、京町家等の伝統的建造物を保全・継承し、伝統的な京都の暮らしの文化を今に活かすとともに、歴史資産としてのストックと新たに形成される良質な建造物とが融合した京都らしい活力のある歴史的町並みの形成を目的とする。

歴史的建造物の保全、再生、活用に関する各種の支援及び普及、啓発

(1) 京町家まちづくりファンド事業

予算額 23,060 千円 (前年度予算額 7,545 千円)

※ 振込手数料等を含む。(内 30 千円)

収入の部

	平成 24 年度予算	平成 23 年度予算 (補正後)
基金取崩収入	23,030,000 円	(7,515,000 円)
収入総額	23,030,000 円	(7,515,000 円)

・ 基金運用益	680 千円
・ 平成 23 年度余剰金	3,305 千円
・ 寄付金等 (平成 23 年度実績)	1,515 千円
* 寄付金、募金等	
・ 一般会計からの繰入	500 千円
小計	6,000 千円
・ 平成 23 年度からの繰越金	8,030 千円
小計	8,030 千円
・ 基金からの臨時取崩	9,000 千円
合計	23,030 千円

支出の部

	平成 24 年度予算	平成 23 年度予算 (補正後)
基金事業費	23,030,000 円	(7,515,000 円)
支出総額	23,030,000 円	(7,515,000 円)

・ 平成 24 年度助成金交付予定分	15,000 千円
・ 平成 23 年度からの繰越分 (6 件)	8,030 千円
合計	23,030 千円

① 京町家まちづくりファンド事業の対象

京都市の各種制度・事業や民間での京町家保全・再生の取組との連携を十分に図りながら、地域まちづくりとの関連性が深く、改修後において景観重要建造物に指定されるなど将来にわたり維持・保全されることが評価されるもの等を基本に改修助成を行う。

② 平成 24 年度事業の進め方

- ・ 対象案件の募集は公募方式で行う。
- ・ 対象案件の選定に当たっては、京町家まちづくりファンドの効果を高めることを主眼に置き、選定委員会の審議により行うこととする。
- ・ 改修助成事業においては、助成対象範囲に係る改修工事費の 2 分の 1、上限 5 0 0 万円の枠内で、助成する。

③ 平成 24 年度募集件数、予算額

- ・ 募集物件 10 件程度
- ・ 予算額 15,000 千円

(2) 京町家プロジェクト事業

予算額 5,964 千円 (前年度予算額 8,202 千円)

収入の部

	平成 24 年度予算	平成 23 年度予算 (補正後)
WMF からの助成金収入	4,568,000 円	(8,206,000 円)
平成 23 年度からの繰越金	1,396,000 円	(0 円)
収入総額	5,964,000 円	(8,206,000 円)

支出の部

	平成 24 年度予算	平成 23 年度予算 (補正後)
京町家プロジェクト事業費	5,964,000 円	(8,020,000 円)
支出総額	5,964,000 円	(8,020,000 円)

地域社会で守るべき文化遺産を保護し後世に継承すべく、直面する課題を地域一体となつて解決し、京町家の保全・再生を図るとともに、同様な課題に直面する地域社会とその取組と成果を共有し、町並みの保存・再生のモデルとなるための以下の活動を、特定非営利活動法人京町家再生研究会とともに実施する。

- ・ 京町家（奥村邸）の修復工事
- ・ 当該京町家に関連する事業（修復に係る調査や記録作成等）・・・WMF 負担分
- ・ シンポジウムや展示会等の普及、啓発の取組・・・WMF 負担分

(参考)

【平成 23 年度実施分】

《第 I 期》

・ デザインガイドラインの作成	700,442 円	
・ アクションプランの提案	180,886 円	
・ 町家（ちょういえ）修復記録の作成	1,797,984 円	※ 京町家再生研究会が実施
合 計	2,679,312 円	

《第 II 期》

・ 京町家（奥村邸）の修復工事	5,339,700 円
合 計	5,339,700 円

【平成 24 年度実施分】

《第 II 期》

・ 京町家（奥村邸）の修復工事	593,300 円	
・ 修復に係る調査や記録作成等	1,290,000 円	
・ シンポジウムや展示会等の普及、啓発の取組	4,080,700 円	※ 第 I 期分を含む。
合 計	5,964,000 円	